

保証書

商品名		保証期間	お買い上げ日から1年間。 (但し、下記「保証規定」による)
お客様	ご住所 〒	お買い上げ日	年 月 日
	お名前	販売店	住所 〒
			販売店名
	TEL.() -		TEL.() -

・お買い上げ時に商品名、お客様名、お買い上げ日、販売店名をご記入願います。
・本保証書は再発行致しませんので、紛失しないようご注意ください。

保証規定

- このベビーシートの保証期間は、お買い上げの日から1年間とします。
- 保証期間内は製造上の責任による故障や破損は無料で交換を致しますが、お客様の責任によるものは有料となります。
- 次のような場合は、保証期間内でも無料サービスの対象から除外されます。
 - ①表皮などの汚れやキズ、破れ
 - ②金属部のメッキ、塗装の自然劣化
 - ③保証書の提示がない場合
 - ④間違った使いかた、手入れの不良、不当な修理・改造による故障や破損の場合
 - ⑤火災・水害・地震などの自然災害や事故による故障、破損の場合
 - ⑥取り付けけた車両側の要因による事故や破損の場合
 - ⑦本保証書の所定事項への記載がない場合
 - ⑧有料交換に要する運賃などの諸経費
- 一度ご使用になった商品は、お取り替えできません。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 製造を中止した商品の交換については、必要部品の在庫がなくなった場合、交換ができないことがあります。
- 保証等に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店又は、下記に直接ご連絡ください。

お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。
発売元 **トヨタ自動車株式会社**

お客様相談センター
全国共通フリーフォン

0070-800-778899

〒461-8711 名古屋市東区桑一丁目23の22

オープン時間/月曜～金曜（除く祝祭日）9:00～12:00 13:00～17:00

トヨタ純正

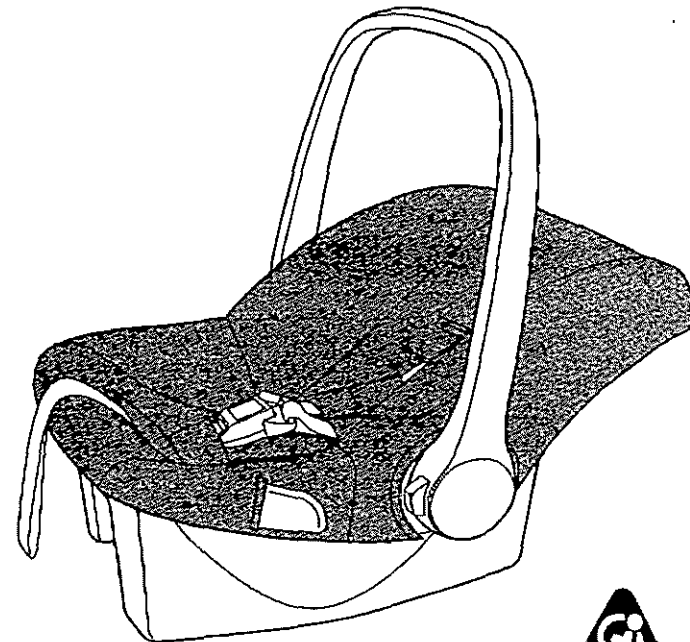
ベビーシート

08793-00150

『G-Child Baby』

取扱書

型式 7D5760



1. ご使用にあたって
2. ご使用上の注意
3. 各部の名称
4. お子様の乗せかた
5. 高さ調整の調節
6. リームの調節
7. 車両への取り付け
8. リンクベルトの使用法
9. ベッドサポートの使用法
10. その他
11. ベビーシートのお手入れ

このたびはトヨタ純正ベビーシートを
お買い上げいただき、ありがとうございました。

本品は、自動車事故の場合などの際にお子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられたベビーシートです。

お子様の安全のためにご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。本書は紛失しないよう表皮サイド部のポケットに保管してください。

本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡してください。

1 ご使用にあたって

警告表示について

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

- 警告** 記載事項を守らないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあるもの。
- 注意** 記載事項を守らないと、傷害、事故またはベビーシートの破損につながるおそれがあるもの。

その他の表示について

「完了チェック」 安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しております。

アドバイス この用品のために守っていただきたいこと、およびより安全、快適にご使用いただくうえで知っておくと便利なことを記載しております。

イラストの中で使用されている×の記号は、図示されている行為の禁止を示しています。

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

- 体重 - 新生児～10kg未満
- 参考身長 - 新生児～75cm以下
- 参考年齢 - 新生児～生後12ヶ月以下



警告

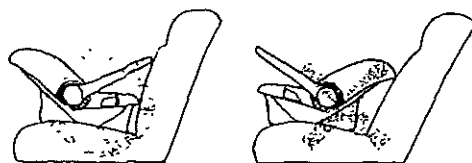
・お子様には適切なベビーシートをご使用ください。ご使用いただけるお子様の条件（体重範囲）を満たさないお子様には、ベビーシートを使用しないでください。万一のとき、ベビーシートの効果が発揮できず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

アドバイス

・体重10kg以上～18kg未満のお子様にはチャイルドシート、体重18kg以上のお子様にはジュニアシートをご利用ください。

警告

進行方向に対し必ず後ろ向きでご利用ください



危険ですので前向きには絶対に使用しないでください。後ろ向き以外では衝突したときなどにベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

・お子様のためにも1時間以内を目安に定期的に休憩を取るようにしてください。

この様な車両シートベルトの種類、座席には使用しないでください。

警告

●本品は利用型ベビーシートであり、ベビーシートの型式指定基準に適合しておりますが、車両シートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にベビーシートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にベビーシートが移動するなどして十分な効果を発揮せず命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。なお、不明な点は善来の問い合せ先または、販売店にお問い合わせください。

●車両シートベルトの種類

※車両シートベルトの種類の詳細は「車両シートベルトの種類(P6)」を参照してください。

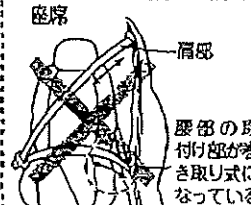
○: 取付できる ×: 取付できない (右図参照)

	巻取装置付						巻取装置なし
	2点式	2点式	2点式	2点式	2点式	2点式	2点式
2点式	○	×	×	×	×	×	×
3点式	○	×	×	×	×	×	×

●2点式シートベルトの座席



●3点式シートベルトの腰部取付け部が巻取り装置付の座席

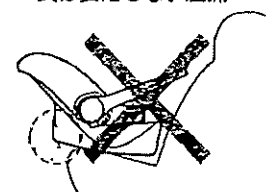


●オートマチックシートベルトの座席

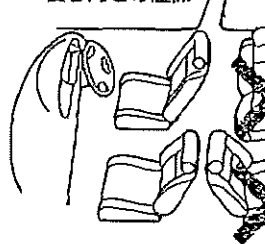
座席に座ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的に外れるシートベルト。



●ベビーシートの底面の前後端が車両シート座面に納まらない場合又は安定しない座席

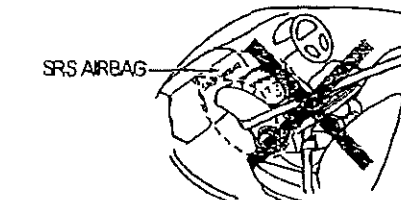


●進行方向に対し横向き、後ろ向きの座席



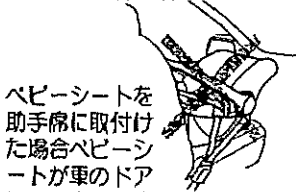
●シートベルトが短かく、実際に固定できない座席
●シートベルトの正しい座席
●ベビーシートが固定できない座席
●車両シートベルトのバックルを三回転ねじっても、腰ベルトが長すぎる座席。

●SRSエアバッグが装備された座席 (SRSサイドエアバッグは除く)



助手席などSRSエアバッグが装備された座席には絶対に取付けないでください。SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で生命にかかわるような重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ベビーシートを取付けると助手席側の後方視界を妨げる座席 (助手席SRSエアバッグが装備されていない座席のみ)

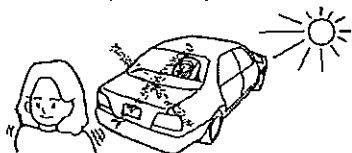


ベビーシートを助手席に取付けた場合ベビーシートが車のドアミラーを隠し後方視界を妨げることがあります。その場合は後席でご利用ください。

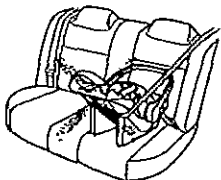
2 ご使用上の注意

警告

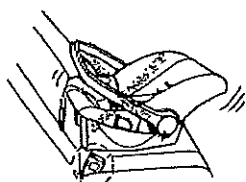
- お子様は車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子様をベビーシートに座らせたまま自動車から離れないでください。炎天下の車内は高温となり車内にお子様を残しておく、熱射病や脱水症状となり重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



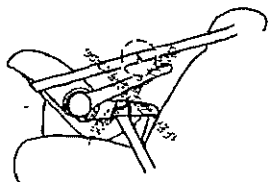
- 事故などにより衝撃を受けたベビーシートは使用しないでください。万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。必ず新しいベビーシートに取り替えてください。



- ベビーシートはお子様を乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にベビーシートが移動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、荷物をベビーシートの上に置かないでください。



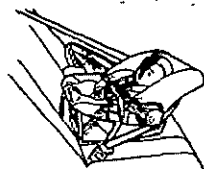
- 車両シートベルトおよびベビーシートのベルトを損傷させたりしないよう十分注意してください。また損傷したベルトは使用しないでください。損傷したベルトをそのまま使用すると衝突したときなどにベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに交換してください。また事故により強い衝撃を受けたシートベルトは使用しないでください。



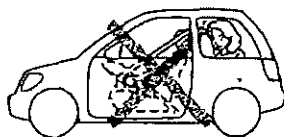
- ベビーシートにお子様を乗せてご使用になるときは、バックルを外さないでください。外すと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



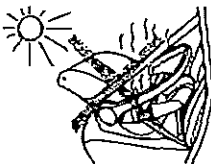
- 走行中および使用中はお子様を脱いで車両シートベルトやベビーシートのバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出すことのないよう、細心の注意をはらってください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ベビーシートはなるべく安全性の高いといわれている後席で使ってください。なお後席に設置する場合は、2ドアや3ドア車両などの後席にドアが閉まる際、1ボックスなどの後部座席の奥側に支障となる状態にはベビーシートを取付けないでください。後席の奥側に支障が出る原因となる場合があります。



- ベビーシートに日光が当たると金属部や樹脂などが熱くなり、変形したりとやけどをするおそれがあります。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。

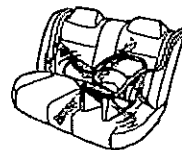


- 走行中はベビーシートの調整や操作をしないでください。走行中に行くと道路の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

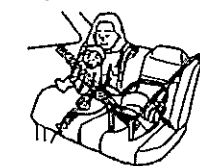


警告

- 車両シートベルトは、ねじれ(バックル側は真逆のため3回転までは可)やゆるみがなく確実にロックされた状態で固定してください。またご使用中車両シートベルトがゆるむなどしてベビーシートの固定があまくなることがあります。ときどき点検し、ゆるくなった場合は再度取付けなおしてください。車両シートベルトがねじれていたり、ゆるんでいたり、確実にロックしていない場合には衝突したときなどにベビーシートが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 安全のため、走行中はベビーシートから、降りささないでください。走行中に行くと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 運転席側リヤシートで運転席の位置により安全に取付けられる十分なスペースが確保できない場合は、ベビーシートを無座席に取付けしないでください。急ブレーキや衝突したときなどにベビーシートが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子様をベビーシート固定機構付きシートベルトで固定しないでください。お子様がベルトを体に巻き付けたりして遊んでいるときに、脱いでベビーシート固定機構を作動させると、ベルトを引き出すことが出来なくなり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ベビーシートの表皮、カバー類は取り外して使用しないでください。

- 本ベビーシートの表皮、カバー類は指定以外のものと取り替えて使用しないでください。

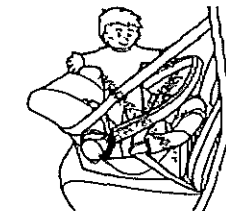
- 本書に記された以外の方法で絶対に取付けしないでください。正しく取付けないと衝突したときなどにベビーシートが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 本書に記された以上の分解、構成部品を取外した状態で使用、本図指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ベビーシートを助手席に取付けた場合(助手席SRSエアバッグが装備されていない座席)ベビーシートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。もし、干渉する場合は、助手席での使用をやめ後席で使用するしてください。



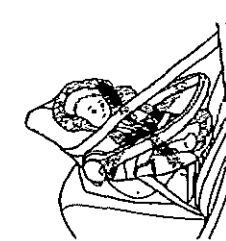
- 走行中、停車中ともお子様をベビーシートの上に立たせたり、中腰、正座の状態で使用しないでください。お子様がベビーシートより落ちてケガなどをされるおそれがあります。



- お子様、ベビーシートをご使用中は、お子様に固いもの、鋭利なものの危険なものを絶対に持たせしないでください。わずかな衝撃でも生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 事故などにより、傷害を与えるような物を固定しない状態で、車の中に放置しないでください。万一のとき、お子様にあたり、ケガなどをされるおそれがあります。

- お子様とベビーシートの間に毛布などを入れないでください。万一のとき、ベビーシートが十分な効果を発揮しないおそれがあります。



注意

- 長時間国外にベビーシートを放置しないでください。ベビーシートの機能を損ねる原因となります。
- 灰、埃、油などをベビーシートにこぼさないように注意してください。故障の原因となります。
- ベビーシートを車両の可動部分(シートやドア)で挟んだりしないよう十分ご注意ください。ベビーシートが損傷するおそれがあります。
- 後席にベビーシートを取付け、お子様を座らせた場合は、その前席に座る方は、シートリライナー(クッション)をおかけください。

車両シートベルトの種類

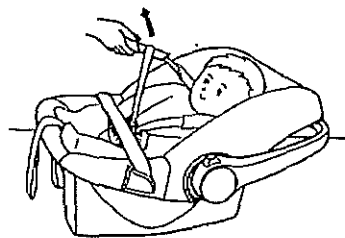
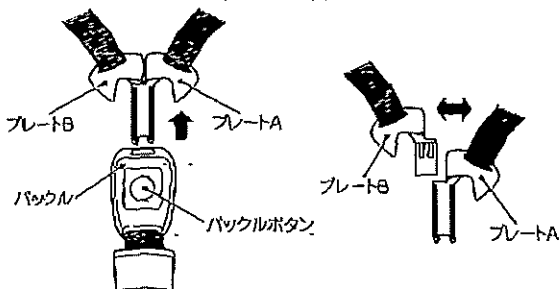
- シートベルトの種類により取付け方法が異なります。ベビーシートを正しく安全に使用されるためにお客様の車両のシートベルト種類を確認して頂き、それぞれの種類に合った取付け方法で装着してください。使用できる車両は、巻末の問い合わせ先または、販売店にお問い合わせください。

シートベルトの種類	特徴	取付け
ELR(緊急ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	通常時には、ベルトが自由に引き出し巻取りでき、急ブレーキ等の衝撃を感じたときにベルトがその時点でロックされます。	ベビーシートの取付けに合わせて、シートベルトの長さを引き出し巻取りながら固定してください。(取付けかたは「7車両への取付け」P10～12を参照)
A.R/ELR(自動ロック及び緊急ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	ELR付3点式シートベルトにチャイルドシート固定用にALR機構を備えたものです。	装着の際は上記ELR付3点式シートベルトと同じ方法で固定してください。固定した後車両シートベルトを全量引き出しALR機構を作動させ、巻取りながら長さを調節してください。巻取る時車両シートベルトの肩ベルトを持ち上げないでください。(取付けかたは「7車両への取付け」P10～12を参照)
ALR(自動ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	ベルトを引き出す途中(任意の位置)で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	ベビーシートを固定するのに必要な長さのシートベルトを一気に引き出して巻取りながら固定してください。巻取る時、車両シートベルトの肩ベルトを持ち上げないでください。(取付けかたは「7車両への取付け」P10～12を参照)
NLR(非ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	ロック機構が無く、ベルトを全部引き出した状態で体格に合わせてベルトの長さを調節します。	巻取り装置からシートベルトを全部引き出し、ベビーシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。(取付けかたは「7車両への取付け」P10～12を参照)
マニュアル式3点式シートベルト	巻取り装置が無く、体格に合わせてベルトの長さを調節するシートベルトです。	ベビーシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。(取付けかたは「7車両への取付け」P10～12を参照)

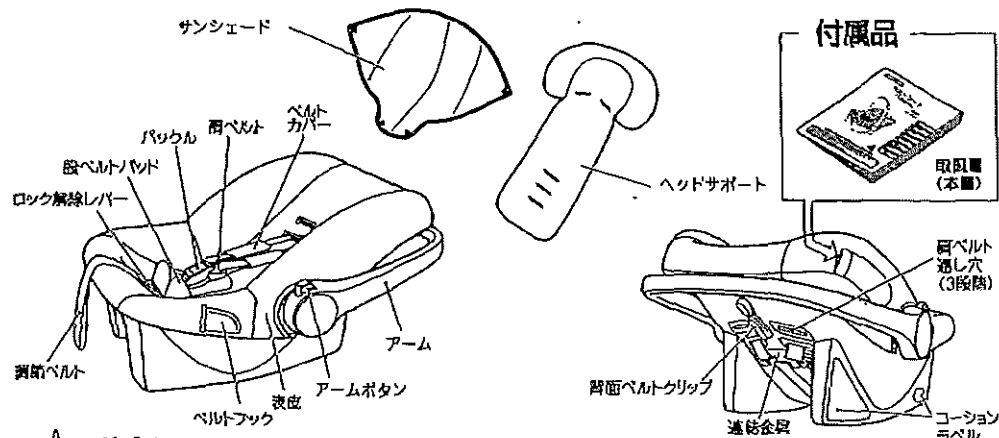
緊急の場合には

緊急時にはあわてずに、下記方法ですみやかにお子様を救出してください。

- バックルのボタンを指で強く押し、プレートA・Bをバックルから離し、お子様を降ろしてください。
- バックルからプレートA・Bが抜けない時には、ベビーシートの肩ベルトを刃物等で切り、お子様を降ろしてください。



3 各部の名称



アドバイス

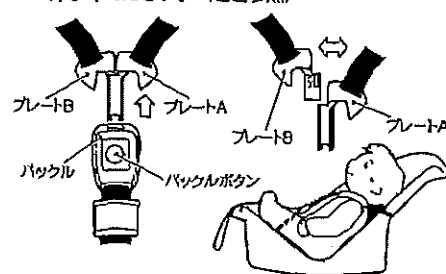
- 取扱書をご使用にならないときは、大事な備品であるため紛失しないように表皮サイド部のポケットに折りたたんで大切に保管してください。

4 お子様の乗せかた

警告

- ベビーシートのバックルを外したままのご使用は絶対におやめください。

- ① バックルのボタンを強く押し、プレートA・Bを外してください。(左図参照)



アドバイス

- 左右のベルトを外側に磨いておくと、お子様を乗せやすくなります。



- ② お子様のお尻がシートが一番深い位置にくるように乗せてください。
- ③ プレートAとプレートBを組み合わせてから、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。(左図参照)

警告

- プレートA、プレートBは片方ずつではバックルに差し込めません。また片方のみではバックルにロックしません。必ずプレートAとプレートBをきちんと組み合わせてからバックルに差し込み、ロックしてください。

- ④ 肩ベルトの位置や長さをお子様の体格に合わせ必ず調節してください。(「6肩ベルトの長さ調節」P8を参照)
- ⑤ ベルトカバーをお子様の肩にかかる位置に調節してください。

完了チェック

警告

- 右記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
- バックルとプレートA・プレートBが確実に結合されていること。
- 肩ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。
- ベルトカバーが正しい位置にあること。
- 連結金具が肩ベルトに正しく付いていること。(肩ベルトを引っ張り確認してください。)

5 肩ベルトの調節

△ 警告

- 各機能の取付け、取り外しおよび調節は必ず停車中に行ってください。走行中に行くと意図の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。

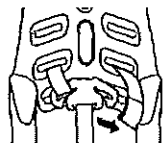
1. 肩ベルト通し穴の変えかた

△ 警告

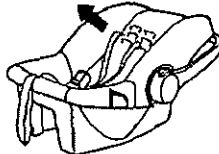
- 肩ベルトは、お子様の体格に合わせて必ず調節してください。正しく調節しないと衝突したときなどにベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

お子様の成長に合わせて、肩ベルトの位置を調節してください。

① 背面の連結金具から肩ベルトを外してください。



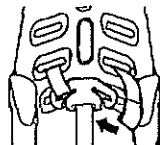
② ベビーシート本体から肩ベルトを抜き取ってください。



③ 下図のように肩ベルトをお子様の肩の高さに最も近い位置で、左右同じ高さの肩ベルト通し穴に通してください。

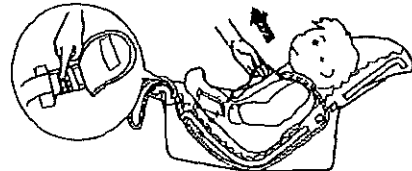


④ 背面の連結金具に肩ベルトを差し込んでください。

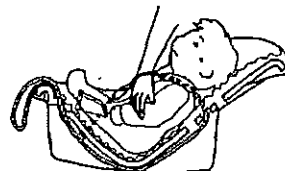


2. 肩ベルト長さの調節

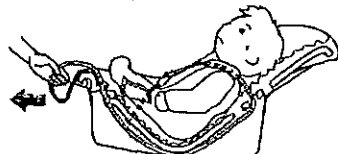
① 図のようにロック解除レバーを押しながら左右の肩ベルトを引き出し、ゆるめてください。



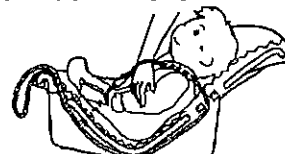
② 図のようにお子様の体と肩ベルトの間に手のひらが入る程度に、肩ベルトの長さの目安をつけてください。



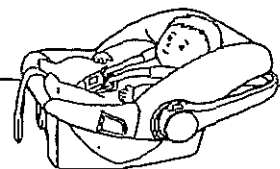
③ 調節ベルトを引き、②で決めた長さになるよう肩ベルトの長さを調節してください。



④ お子様の体と左右の肩ベルトとの間に手のひらが入る程度かを確認してください。



(完了チェック)



△ 警告

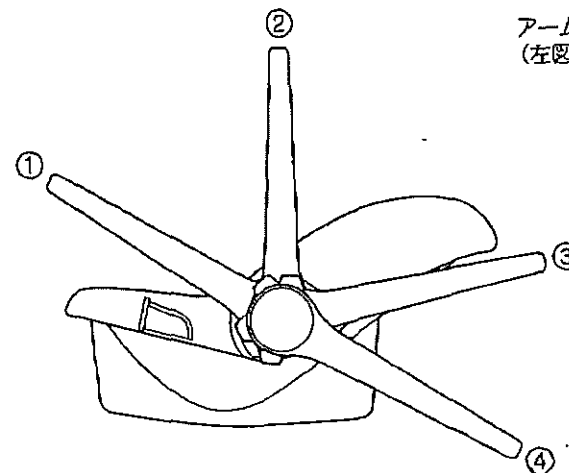
- 下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - 肩ベルトが左右とも確実に調節金具に接続されていること。
 - 肩ベルトが左右同じ高さの穴から通していること。
 - 肩ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。

6 アームの調整

1. アームの位置

アームは、次の4つの位置で固定して使用できます。(左図)

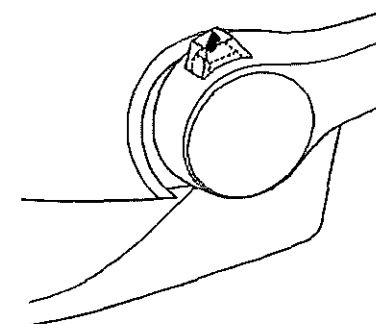
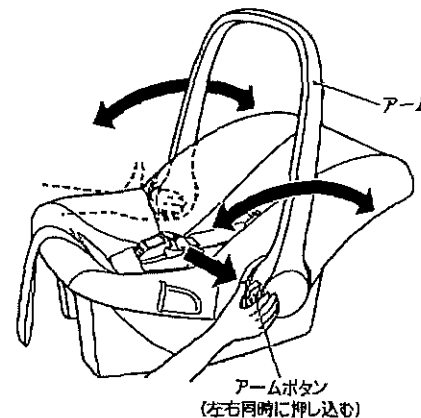


- ① 車両取付け位置
- ② キャリア位置
- ③ ゆりかご・収納位置
- ④ ベビーラック位置

2. アーム位置の調節

① 左右のアームボタンを同時に押し込み、アームのロックを外し、アームを回転させます。

② アームを使用する位置で、アームボタンが戻りアームがロックされるのを確認します。



(完了チェック)

△ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - アームが確実にロックされていること。
 - アーム位置が正しい使用位置にあること。

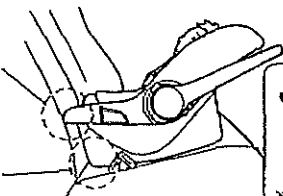
7 車両への取付け

警告

- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(P1 ご使用にあたって「P2.3を参照」)取付けが難しい場合は無理に取付けしないでください。万一のとき、ベビーシートが効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあります。
- ベビーシートは進行方向に対して、必ず後ろ向きで取付けてください。前向きではベビーシートが効果を発揮しないばかりか、万一のときに思わぬ事故のおそれがあります。
- お子様を乗せたまま車両へ取付けるときは、お子様が落ちてケガをすることのないよう、十分注意して取付けてください。
- SRSエアバッグが装備されている座席には絶対に取付けしないでください。エアバッグがぶくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。なお前席(助手席SRSエアバッグが装備されていない座席)にベビーシートを取付ける場合は、車両前席シートの前後位置をいちばん後ろの位置にした上で後ろ向きに取付けてください。
- ベビーシートは安全性の高いといわれている後席で使用してください。

1. 車両シートへの置きかた

- ベビーシートの座面先端部が車両シートバックに当たるようにしてください。
- リクライニング付シートの場合はベビーシートの座面先端部が車両シートバックに当たるようリクライニング調整してください。
- ベビーシート座面の前部が車両シート座面に接するようにしてください。



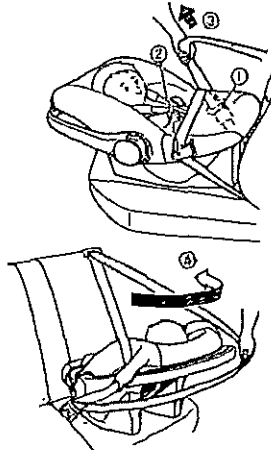
アドバイス

- 車両にアジャスタブルショルダーベルトアンカが装備されている場合は一番下の位置に調整しておく、ベビーシートを取付けやすくなります。
- ※アジャスタブルショルダーベルトアンカ…車両シートベルトが乗員の肩に十分かかるよう高さを調節できる機構。(調節方法等、取扱については車両の取扱書をお読みください。)
- 前席へ取付ける場合(助手席SRSエアバッグが装備されていない座席のみ)は車両シートを一番後ろまで下げておく、ベビーシートを取付けやすくなります。

警告

- 運転者が適切な運転姿勢をとれないおそれのある座席には取付けしないでください。運転の妨げとなり思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあります。(運転席の後方座席や運転席と助手席が一体の車両など)

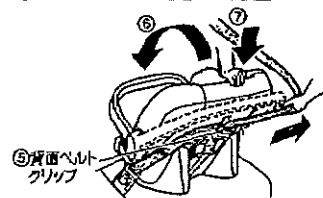
2. 車両シートベルトでの固定のしかた



- ① 車両シートベルトをベビーシートの上を通して、車両のタンクプレートで車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ② 車両シートベルトをベビーシートの両側のベルトフックに差し込んでください。
- ③ 車両シートベルトを引き上げ、ゆるみを取ってください。
- ④ 車両シートベルトを引き出し、ベビーシートの背面を通過させてください。

アドバイス

- 車両シートベルトが短く、ベビーシートの背面を通過させにくい場合は「車両シートベルトが短く背面を通過させにくい場合」(P12)を参照ください。
- ALR/ELR付シートベルト、ALR付シートベルトの場合、車両シートベルトをすべて引き出さないでください。チャイルドシート固定機能が作動し、取付けにくくなります。万一、チャイルドシート固定機能が作動した場合、車両シートベルトを全部巻き戻し、再度装着願います。



- ⑤ 車両シートベルトをベビーシートの背面ベルトクリップに差し込んでください。
- ⑥ 左右のアームボタンを同時に押し、アームを車両取付け位置(P9参照)まで回転させロックさせてください。
- ⑦ ベビーシートを車両シートに押しつけながら、ベルトのゆるみを取ってください。
- ⑧ ALR/ELR付シートベルト、ALR付シートベルトの場合は、車両シートベルトが止まるまでゆっくり引き出した後、ベビーシートをしっかり固定できるように車両シートベルトを巻き取ってください。(車両シートベルトが引き出せないことを確認してください。)

警告

- シートリクライニングノブの下にシートベルトが入り込まないようにしてください。

完了チェック

警告

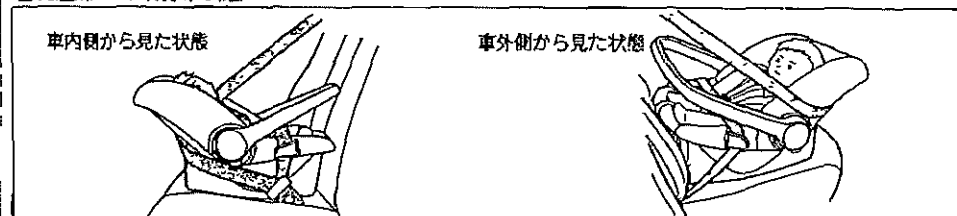
- 下記の項目を満たさない状態で使用しないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。

- 車両ベルトが図の通りになっていること。アームが図の位置で確実にロックされていること。



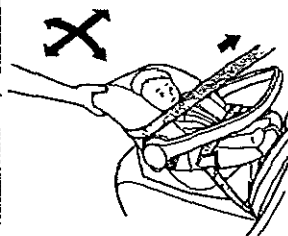
右側座席への取付け状態



- ベビーシートに前後左右に力をかけ、ゆすってみたとき、確実に固定されていること。

警告

- 固定が不十分な場合は前ページ「車両シートベルトでの固定のしかた」の③⑦をやり直し、ゆるみを取ってください。
- 車両シートベルトが短いときや、車両シート座面とベビーシート底面の前部が接しないときは装着しないでください。
- 車両シートベルトがALR(チャイルドシート固定機能)付ベルトの場合、全量引き出してALRの状態では装着し、車両シートベルトの肩ベルト部を持ち上げないでください。(左図→矢印方向)ベルトが引き出せずベビーシートが傾いた状態となり、ベビーシートが効果を発揮しないおそれがあります。装着をやり直してください。



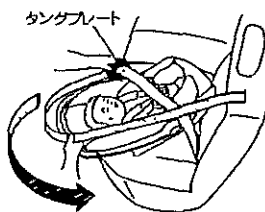
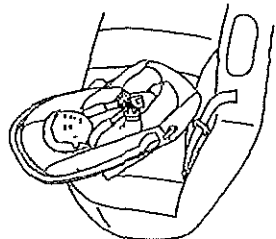
- お子様が座っても、車両シートベルトにゆるみがないこと。(「4お子様の乗せかた」P7を参照)
- 車両シートベルトがねじれていないこと。
- シートリクライニングノブの下にシートベルトが入り込んでいないこと。

車両シートベルトが短く背面を通過させにくい場合

♪アドバイス

- 前席へ取付ける場合(助手席SRSエアバッグが装備されていない座席のみ)は車両シートが一番後ろの位置に調節しておくことベビーシートを取付けやすくなります。
- 車両にアジャスタブルショルダーベルトアンカが装備されている場合は一番下の位置に調節しておくことベビーシートを取付けやすくなります。

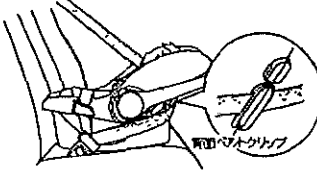
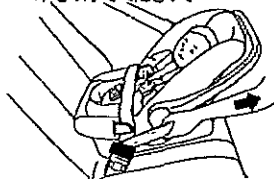
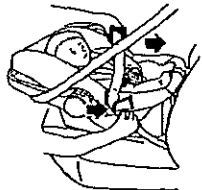
- ① 車両シートにベビーシートを斜めに置いてください。
- ② ベビーシートの上に車両シートベルトを通し、③の位置で車両のタングプレート保持しながら、車両シートベルトを引き出し、ベビーシートの背面を通過させてください。



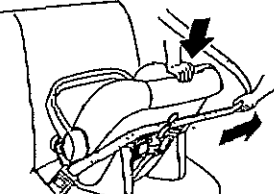
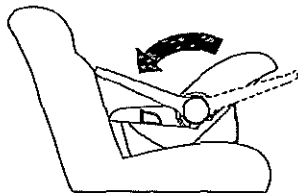
♪アドバイス

- ALR/ELR付シートベルト、ALR付シートベルトの場合、車両シートベルトをすべて引き出さないでください。チャイルドシート固定機能が作動し、取付けにくくなります。万が一、チャイルドシート固定機能が作動した場合、車両シートベルトを全部巻き戻し、再度装着願います。

- ③ ベビーシートを後ろ向きに戻し、車両シートベルトをベビーシート両側のベルトフックに差し込んでください。
- ④ 車両のタングプレートを車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。
- ⑤ 車両シートベルトをベビーシートの背面ベルトクリップに差し込んでください。



- ⑥ 左右のアームボタンを同時に押し、アームを車両取付け位置(P9参照)まで回転させロックさせてください。
- ⑦ ベビーシートを車両シートに押しつけながら車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。



- ⑧ ALR/ELR付シートベルト、ALR付シートベルトの場合は、車両シートベルトが止まるまでゆっくり引き出した後、ベビーシートをしっかりと固定できるように車両シートベルトを巻き取ってください。(車両シートベルトが引き出せないことを確認してください。)

完了チェック

⚠警告

- 前ページの完了チェック(P11)の項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

○ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、前ページ(P11ページ)の完了チェックに従って、必ず確認してください。

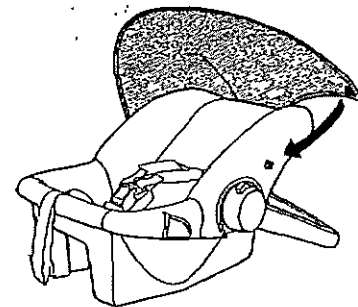
8 サンシェードの使用法

⚠警告

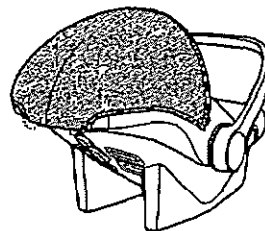
- サンシェードはお子様の日よけ用のためのものです。ご使用の際は、下記取付け方法に従って正しくお使いください。また、上記目的以外では絶対に使用しないでください。万一のとき、思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. サンシェードの取付け方法

- ① サンシェードのボタン部(4カ所)を本体のボタン部(4カ所)に、「パチッ」と音がするまで押し込んでください。



完了チェック



○印：サンシェードのボタン部

⚠警告

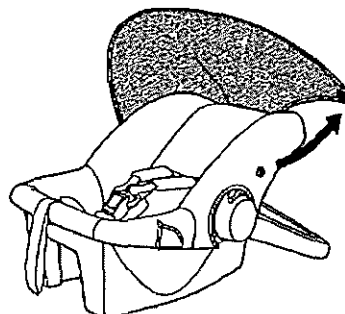
- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。サンシェードが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- サンシェードの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
- サンシェードと本体(4カ所)が確実に結合されていること。

⚠警告

- ベビーシートを助手席に取付けた場合、サンシェードで車のドアミラーを隠し後方視界を妨げることがあります。その場合は、助手席で使用しないでください。運転の妨げとなり思わぬ事故の原因となる重大な傷害を受けるおそれがあります。

2. サンシェードの取り外し方法

- ① サンシェードをもちながら、ボタン部(4カ所)を本体から外してください。



♪アドバイス

- サンシェードをご使用にならないときは、紛失しないよう保管してください。

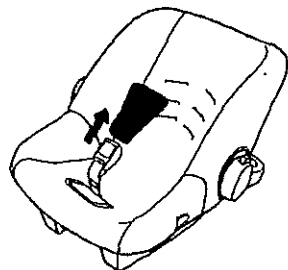
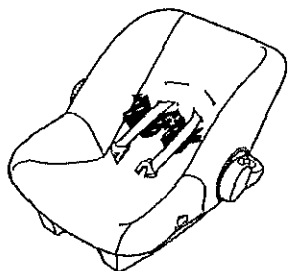
9 ヘッドサポートの使用法

1. ヘッドサポートの取付け方法

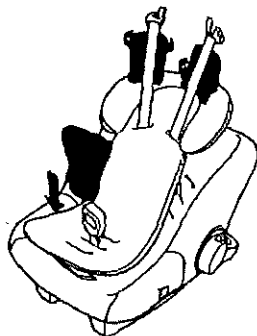
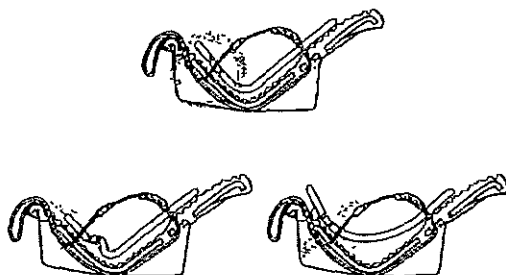
⚠ 警告

- ヘッドサポートはお子様の頭を支えるためのものです。ご使用の際は、下記取付け方法に従って正しくお使いください。また上記目的以外では絶対に使用しないでください。万一のとき、思わぬ事故につながるおそれがあります。

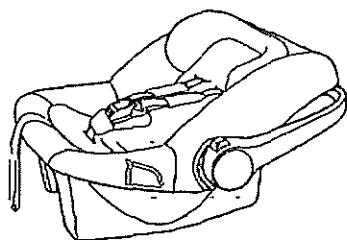
- ① 左右の肩ベルトからベルトカバーを外してください。 ② 股ベルトパッドを取り外してください。



- ③ 下図のように肩ベルト位置に合わせてヘッドサポートを取付けてください。 ④ 左右の肩ベルトカバー、股ベルトパッドを、左右の肩ベルト及びバックルに取付けてください。



完了チェック



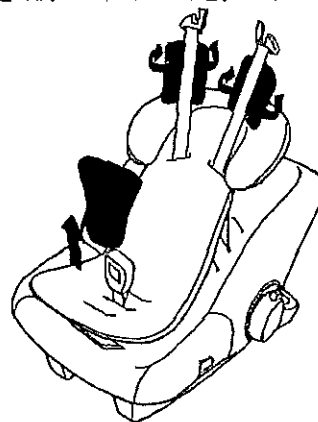
⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ヘッドサポートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ヘッドサポートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - ヘッドサポートと本体が確実に結合されていること。
 - ヘッドサポートがねじれて表裏上下逆になっていないこと。
 - ヘッドサポートがずれていないこと。

2. ヘッドサポートの取り外し方法

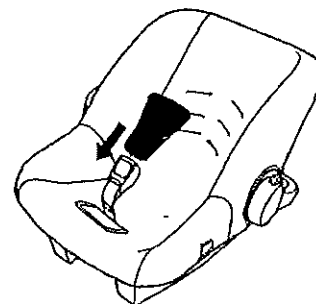
- ① 左右の肩ベルトカバー、股ベルトパッドを外し、ヘッドサポートを取り外してください。



♫ アドバイス

- ヘッドサポートをご使用にならないときは、紛失しないよう保管してください。

- ② 股ベルトパッドを取付けてください。



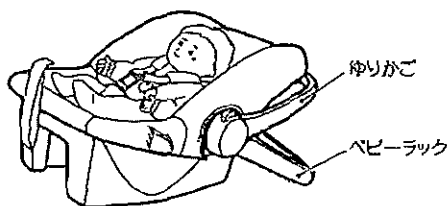
- ③ 肩ベルトカバーを取付けてください。



10 その他

1. ベビーラック、ゆりかごとしてのご使用

- 屋内ではベビーラック、ゆりかごとしてもご使用いただけます。
- アームは下図位置でご使用ください。(P9参照)



警告

- 斜面や不安定な場所へは置かないでください。ベビーシートがたおれたりし、お子様が落ちてケガなどをするおそれがあります。

注意



- ベビーラックとしてご使用になる場合、過剰に押しつけない様ご注意ください。故障の原因となります。

2. 持ち運び方法

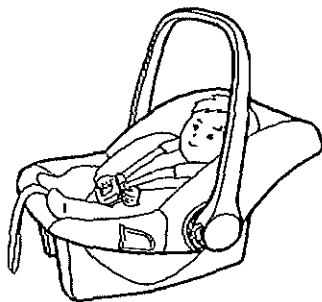
- 車外ではベビーキャリアとしてもご使用いただけます。

警告

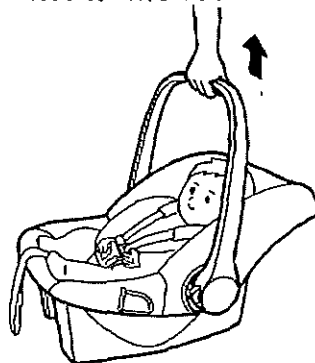
- お子様をベビーシートに乗せているときは、必ずベビーシートの肩ベルトを着用させてください。万一のとき、お子様が落ちてケガなどをするおそれがあります。

アームを使用する場合

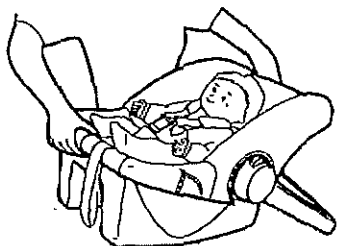
- ① アームをキャリア位置に固定してください。(P9参照)



- ② アーム中央を持って持ち運んでください。



ベビーシートを直接持つ場合



ベビーシートの上下の樹脂部を両手でしっかり持ってください。

警告

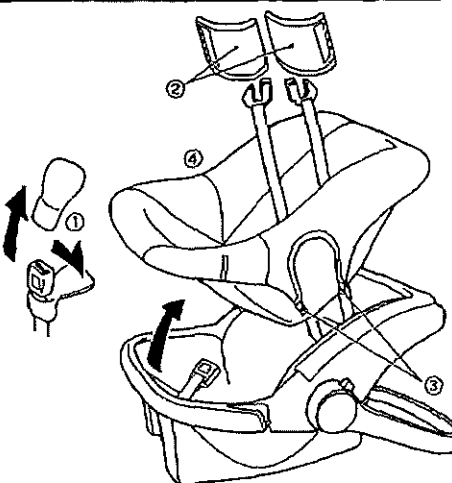
- 表皮だけを決して持たないでください。表皮がずれて両手でベビーシートを支えられなくなるおそれがあります。

11 ベビーシートのお手入れ

1. 構成部品の取り外しかた

警告

- 下記説明以外の分解はしないでください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。

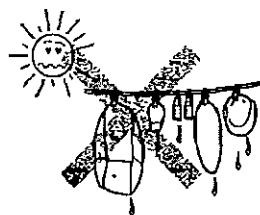


<取り外し順序>

- ① バックルより、股ベルトパッドを取り外してください。(上に引き抜きます。)
 - ② 左右の肩ベルトから、左右のベルトカバーを外してください。(ベルトカバーのマジックファスナーを外します。)
 - ③ アーム下側のゴムひものフックを外してください。
 - ④ ベビーシート足元部から表皮を取り外してください。(頭部側から表皮をはずすと両サイドのベルトフック部が外れにくくなります。)
- ※・サンシェードの取外し方法は「8 サンシェードの使用方法」P13を参照。
・ヘッドサポートの取外し方法は「9 ヘッドサポートの使用方法」P14～15を参照。

2. お手入れ方法

(1). 表皮類の洗いかた



表皮類

部品	構成	表地	中綿	裏地
表皮		綿100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%
ベルトカバー		綿100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%
股ベルトパッド		綿100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%
サンシェード		綿100%	ポリエステル100%	綿100%
ヘッドサポート		綿100%	ポリエステル100%	綿100%

- 水またはぬるま湯で押し洗いしてください。なお、汚れがひどいときは、中性洗剤で手洗いし風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするので使わないでください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機には、かけないでください。

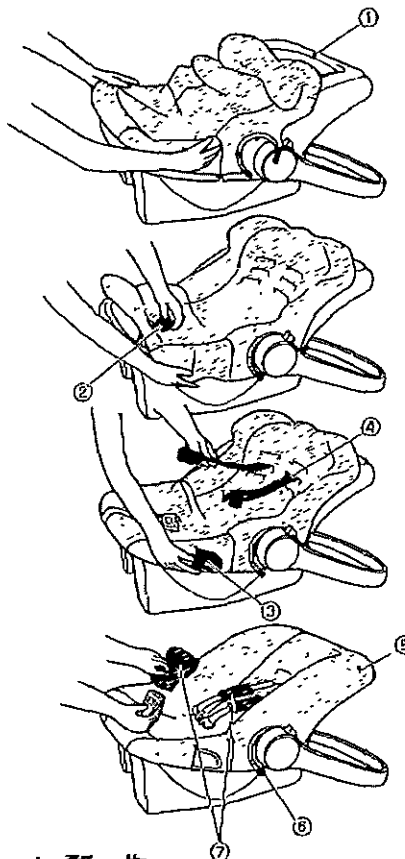
(2). 樹脂部品、肩ベルトのお手入れ

- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物などしみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤がぬるま湯で汚れをとり、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。

警告

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

3. 構成部品の組み付けかた



<組み付け順序>

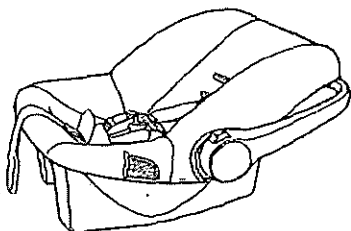
- ① 表皮をベビーシート足元側より、かぶせてください。
- ② バックルを表皮の穴に通してください。
- ③ 左右のベルトフックを左右の表皮の穴に通し、表面に出してください。
- ④ 左右の肩ベルトを表皮の穴に通してください。
- ⑤ 表皮をベビーシート頭部側にかぶせてください。
- ⑥ ゴムひもをアームの下側からまわし、ホックに止めてください。
- ⑦ 左右のベルトカバー、股ベルトパッドを左右の肩ベルト及びバックルに取付けてください。

※・サンシェードの取付け方法は
「8 サンシェードの使用方法」P13を参照。
・ヘッドサポートの取付け方法は
「9 ヘッドサポートの使用方法」P14～15を参照。

△警告

- ベルトフックが外に出ていないと確実に車両に取付けられないおそれがあり危険です。
- 本品は構成部品を取外した状態で使用したり、本品指定以外のものと取り替えて使用しないでください。万一のとき、ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

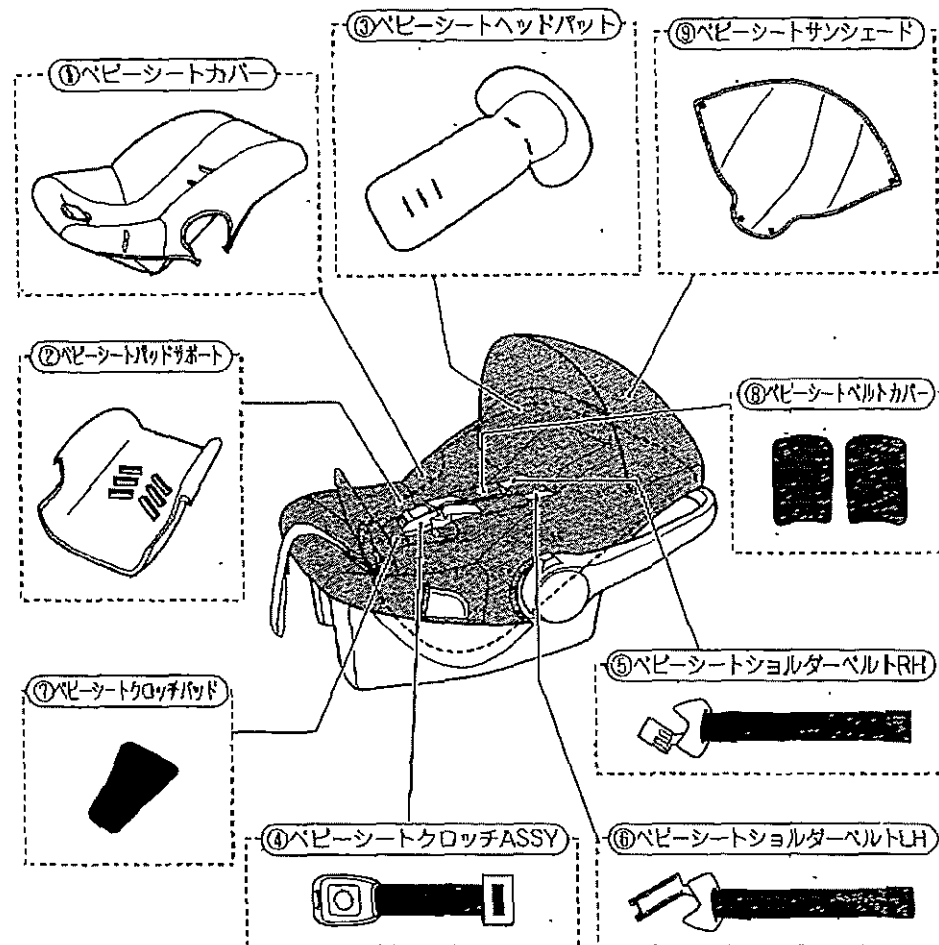
(完了チェック)



△警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - ・左右のベルトフックが完全に表皮から外に出ていること。
 - ・ベビーシートの肩ベルト通し穴と表皮の穴の位置が合っていること。
 - ・ベルトがねじれていないこと。
 - ・構成部品の取付け忘れがないこと。
 - ・構成部品の取付け順序および、左右・表裏の間違いがないこと。

補修部品について



番号	品名	品名	数量
①	08793-00151	ベビーシートカバー	
②	08793-00153	ベビーシートパッドサポート	
③	08793-00155	ベビーシートヘッドパット	
④	08793-00156	ベビーシートクロッチASSY	
⑤	08793-00157	ベビーシートショルダーベルトRH	
⑥	08793-00158	ベビーシートショルダーベルトLH	
⑦	08793-00159	ベビーシートクロッチパッド	
⑧	08793-00162	ベビーシートベルトカバー	X2
⑨	08793-00165	ベビーシートサンシェード	